

クロカキカイガラムシ

ウスリーカキカイガラムシ

各種広葉樹の幹や枝につくカイガラムシ。細長い貝殻状、色は黒い。体長は最大4mm。

シラカンバやライラックに多発し、煤病を併発して美観を損ねる。また、被害により枝が枯れたり、木全体が枯れることもあるという。

上記2種は外観では区別できない。



1. 幼虫，体長3mm（どちらの種かは不明）。



2. 1の遠景。

2000/7/12. 佐呂間町，公園のシラカンバ。

クロカキカイガラムシ

【学名】 *Lepidosaphes tubulorum*

【分類】 カメムシ目 (Hemiptera) ， マルカイガラムシ科 (Diaspididae)

【分布】 北海道，本州，四国，九州，沖縄；中国，台湾。

【宿主】 シラカンバ，ハルニレ，アジサイ類，イワガラミ，ウツギ（ユキノシタ科），イヌツゲ，イタヤカエデ，キブシ，ライラック，イボタ，ニシキウツギ（スイカズラ科）など。

シラカンバやライラックで多発することがある。

ウスリーカキカイガラムシ

【学名】 *Lepidosaphes ussuriensis*

【分類】 カメムシ目 (Hemiptera) ， マルカイガラムシ科 (Diaspididae)

【分布】 北海道，本州，四国，九州；ロシア東部。

【宿主】 シラカンバ，クリ，ケヤキ，サクラ，リョウブ，シャクナゲ類，ツツジ類，カキなど。

シラカンバやカキで多発することがあるという。

【特徴】

両種に良く似たカイガラムシにバラ科樹木などにつくリンゴカキカイガラムシがあるが、この種は赤茶色である。

【生態】

ともに年1回発生，卵で越冬．春に孵化する．夏に成虫になり，秋に体の下に卵を産み死ぬ．卵は雌成虫の殻に被われて冬を越す．

【文献】

1980. 河合省三. 日本原色カイガラムシ図鑑. 全国農村教育協会, 東京. (分類, 形態, 生態)

1994. 河合省三. クロカキカイガラムシ. 小林富士雄, 竹谷昭彦編集, 森林昆虫, 総論・各論: 429-430. 養賢堂, 東京. (形態, 生態)

北海道立林業試験場・緑化樹センター

クロカキカイガラムシ, ウスリーカキカイガラムシ kaigara/kurokaki/
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/2/5.

1musi.JPG, 1musi2.JPG

「写真1～2」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2000.